

# Press Release



2016年3月7日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは2月23日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は [www.covestro.com](http://www.covestro.com) をご参照ください。

## 2015年度すべての財務目標を達成

### コベストロ、初年度に成功を収める

- 特別項目計上前 EBITDA は前年比 41.3%増の 16 億 4 千万ユーロ
- 売上高は前年比 2.7%増の 120 億 8 百万ユーロ
- ポリカーボネート事業部は大幅な増益、塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業部は記録的な売上高
- フリー・オペレーティング・キャッシュフローは記録的な 9 億 6 千 4 百万ユーロ
- 1 株 0.7 ユーロの初めての配当金を検討
- 2016 年度も販売量増加と高いキャッシュインフローの見込み

#### ドイツ・レバクーゼン、2016年2月23日ー

素材メーカーのコベストロは、独立企業としての初年度に大きな成功を収めました。2015年度の全ての財務目標は達成されました。昨年比で特別項目計上前 EBITDA は大幅に増加し、フリー・オペレーティング・キャッシュフローは記録的なレベルに達しました。最近上場を果たしたコベストロは、株主に 1 株当たり 0.70 ユーロの初めての配当金を支払うことを検討しています。2016 年も、さらなる成長への道を歩み続けることを確信しており、再び高いキャッシュインフローを見込んでいます。



「2015年はたくさんの重要な出来事があった年であり、経済的に大成功を収めた年でもありました。当社は、独立し、株式市場に上場し、MDAXに昇格していく中で、収益力と財務力を実証することができました。3つすべての事業部が好業績に貢献しています」とCEOのパトリック・トーマスは述べました。

### **より良好な需給状況**

2015年度のコベストロの特別項目計上前 EBITDA は、前年比 41.3%増の 16 億 4 千万ユーロとなりました。主にこれまでより良好な需給状況と販売量の増加が貢献しました。その結果、売上高は販売価格の下落にもかかわらず 2.7%増の 120 億 8 百万ユーロになりました。グループの業績を管理するための重要な新しい KPI（主要業績評価指標）である販売量の増加は、同じ比率分増加しました。コベストロが業務を行う 3 つすべての領域が前年と同等の販売量の増加を記録しました。

### **すべての事業部で増益**

高品質フォームの前駆体を開発・製造する最大の事業部であるポリウレタン事業部は 2015 年には販売量が 1.8%増となりました。原材料価格が大幅に低下し販売価格が低下したため、事業部の売上高は、前年比 3.1%減の 60 億 9 百万ユーロになりました。しかし、特別項目計上前 EBITDA は、5.4%増の 6 億 2 千 4 百万ユーロになりました。

ポリカーボネート事業部は、特別項目計上前 EBITDA は、前年比 3 倍以上増の 5 億 6 千万ユーロになりました。売上高は 12.4%増の 31 億 7 千万ユーロ、販売量は 5.2%増となりました。ポリカーボネートは、コベストロが生産し、継続的に最適化している多用途の高性能プラスチックです。

塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業部の売上高は、前年比 8.6%増の 20 億 9 百万ユーロになり記録的なレベルでした。一方で販売量は 2.7%増でした。特別項目計上前 EBITDA は 12.4%増の 4 億 9 千 1 百万ユーロになりました。塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業部では、塗料、接着剤、シーラント、さらに高品質フィルムなどの特殊品のための原料を扱っています。

3 事業部すべてが、200%を超えるフリー・オペレーティング・キャッシュフローの増加に貢献した結果、記録的な 9 億 6 千 4 百万ユーロになりました。特別項目計上前 EBITDA は予想以上に大幅に増加しました。

コベストロは、2015 年度に負債を大幅に削減することができました。純金融負債は、18 億 9 千万ユーロ減少し、22 億 1 千万ユーロになりました。昨年 10 月に株式市場に上場した直後、格付



け機関ムーディーズがコベストロを見通しの安定した Baa2 と格付けしたことによって、国際資本市場における信用力を決定的にしました。

良好な事業展開を踏まえ、コベストロは事業の成功を株主と共有する予定です。経営委員会と監査役会は、2015 年度の初めての配当金は 1 株当たり 0.70 ユーロの支払いを検討しています。

### 今後も販売量の増加と高いキャッシュフローが継続する見込み

グローバル経済の見通しが上向きであること、また自動車、建築、電気・電子、および家具業界などの重要顧客の発展を考慮し、コベストロは 2016 年度の販売量は 1 桁台半ばの増加率を目標として決めました。

フリー・オペレーティング・キャッシュフローは高いレベルを維持し、前年度までの平均を上回る見通しです。さらに、2016 年度も資本コストを稼ぐ見込みです。使用資本利益率 (ROCE) は、資本コストを上回ることができるでしょう。前年度の特別項目計上前 ROCE は 9.5% で、7.2% の資本コストを大幅に上回りました。

.....

### コベストロ社について

コベストロ社は 2015 年度売上高が 121 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気/電子、建築、スポーツ・レジャーの各産業です。コベストロ (旧バイエル マテリアルサイエンス社) は 2015 年末現在、世界中の 30 拠点に生産施設があり、社員数は 15,800 人です。詳しくはこちらをご覧ください。 [covestro.jp](http://covestro.jp)

---

### 【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 23F

広報部 梅澤 Tel:03-6250-7079 / Fax:03-5219-9706

---



## コベストログループの主要データ

	2014 (百万ユーロ)	2015 (百万ユーロ)	前年比 %
売上高	11,761	12,082	+2.7
売上高差異			
販売量要因		+2.6%	
価格要因		- 7.7%	
為替要因		+7.8%	
製品構成要因		0.0%	
主要製品販売量増減	+4.8%	+2.7%	
地域別売上高			
ヨーロッパ・中近東・南米	5,493	5,357	-2.5
北米	3,022	3,356	+11.1
アジア太平洋地域	3,246	3,369	+3.8
EBITDA	1,122	1,419	+26.5
特別項目計上前EBITDA	1,161	1,641	+41.3
EBIT	517	680	+31.5
特別項目計上前EBIT	561	942	+67.9
金融取引収支	(136)	(175)	-28.7
当期純利益	272	343	+26.1
グロス・キャッシュフロー	1,016	1,155	+13.7
オペレーティング・キャッシュフロー	925	1,473	+59.2
インベストメント・キャッシュフロー	612	509	-16.8
フリー・オペレーティング・キャッシュフロー	313	964	>200
純有利子負債	4,101	2,211	-46.1
使用資本利益率	6.2%	9.5%	

※ 2015年12月31日付（前年同月同日比）

### 将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト（[www.covestro.com](http://www.covestro.com)）に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。